

はじめに

現在、私たちを取り巻く社会情勢は、少子高齢化社会の到来、地域のつながりが薄れることによる地域教育力の低下や急速に進む情報化社会など、日常生活にも大きな影響を与えており、市民の社会変化に対応する学習や生きがいがづくり、自己実現に向けた学習活動などが求められています。

こうした中で、平成 11 年度に策定した「成田市生涯学習推進計画」が平成 22 年度で終了することに伴い、これまでの取り組みを評価・継承し、市民一人ひとりの学習成果が活かせるまちづくりを目標として、本市の生涯学習をより一層推進するため、「第 2 次成田市生涯学習推進計画」を策定いたしました。

本計画では、基本理念を引き続き「ゆたかな自然と歴史のもと“国際市民”を育むまち」として、成田の個性を活かした国際交流・地域文化の発展に向けた生涯学習の基本方針や主要施策などを定めています。

今後、この計画に基づき、市民、地域、企業、教育機関などと連携を図りながら、市民の生涯学習をより一層支援し、温かみと優しい思いやりを持った「住んで良し、働いて良し、訪れて良し」生涯を完結できる空の港町づくりに向けて取り組んでまいります。

本計画の趣旨が、関係機関はもとより、多くの市民の皆様に支持され、ご協力いただけることを期待するものです。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご提言やご意見をいただきました関係各位に心よりお礼申し上げます。

平成 23 年 2 月

成田市長 小泉一成

計画の構成と期間

1. 構成

(1) 基本構想

生涯学習を推進するため、基本理念および基本方針ならびに主要施策を定めます。

(2) 基本計画

基本構想で定めた主要施策の実現を図るため、施策の方向と事業の展開を示します。

2. 期間

本計画の期間は、平成 23 年度（西暦 2011 年度）から平成 32 年度（2020 年度）までの 10 年間とします。



〔基本構想〕

基本理念

成田市における生涯学習の将来像の実現をめざし、次の基本理念に基づいて、本計画を推進します。

ゆたかな自然と歴史のもと“国際市民”を育むまち

国際化や情報化が進む 21 世紀は、「こころ」と「こころ」を結ぶコミュニケーションづくりを充実させ、「人のつながり」を大切にした市民生活が重要となります。

本計画においては、世界の人々に対して誇れるような個性と広い視野を備え、成田を大切に、互いに助け合い共に学びながら、社会情勢の変化に対応し、自立して生きていける「国際市民」を育むことを目指します。

私たちが「国際市民」となる上で重要なことは、本市の持つ自然や歴史の中で育まれた地域環境のもとで、一人の市民として、何を学び、何をしたいのか、何ができるのかを考え、豊かなコミュニティづくりを進めるために生涯学習を実践していくことです。

こうした過程を経て、私たちは真の「国際市民」となっていくものと考えます。

このように、成田の豊かな自然と歴史のもと、市民一人ひとりの生涯にわたる学習を支え、「国際市民」を育むことを本計画の基本理念とし、「市民が学習成果を活かせるまちづくり」を導いていくものとします。



基本方針

本計画は、基本理念の実現を目指し、次のように基本方針を定めます。

1. だれもが主役 ～市民が主体的に学べるまちづくり～

生涯学習を行うために特別な資格は必要なく、市民「だれもが」気軽に取り組むことができることが基本となります。そのため対象分野は広く、さまざまなニーズに対してきめ細かい対応や支援をすることが必要となります。子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の市民「だれもが」自ら主体的に学ぶことができるまちづくりを目指します。

2. いろいろな学習 ～市民が相互に学びあえるまちづくり～

生涯学習は、文化芸術、スポーツからコミュニティ活動など幅広いものであり、その目的も趣味、娯楽の充実から社会貢献に至るまで多様なものです。市民一人ひとりが「いろいろな」学習機会にふれることができるよう、各種講座・研修・交流などの学習機会の提供等を充実し、市民が自らを高め、市民同士が相互に学びあえるまちづくりを目指します。

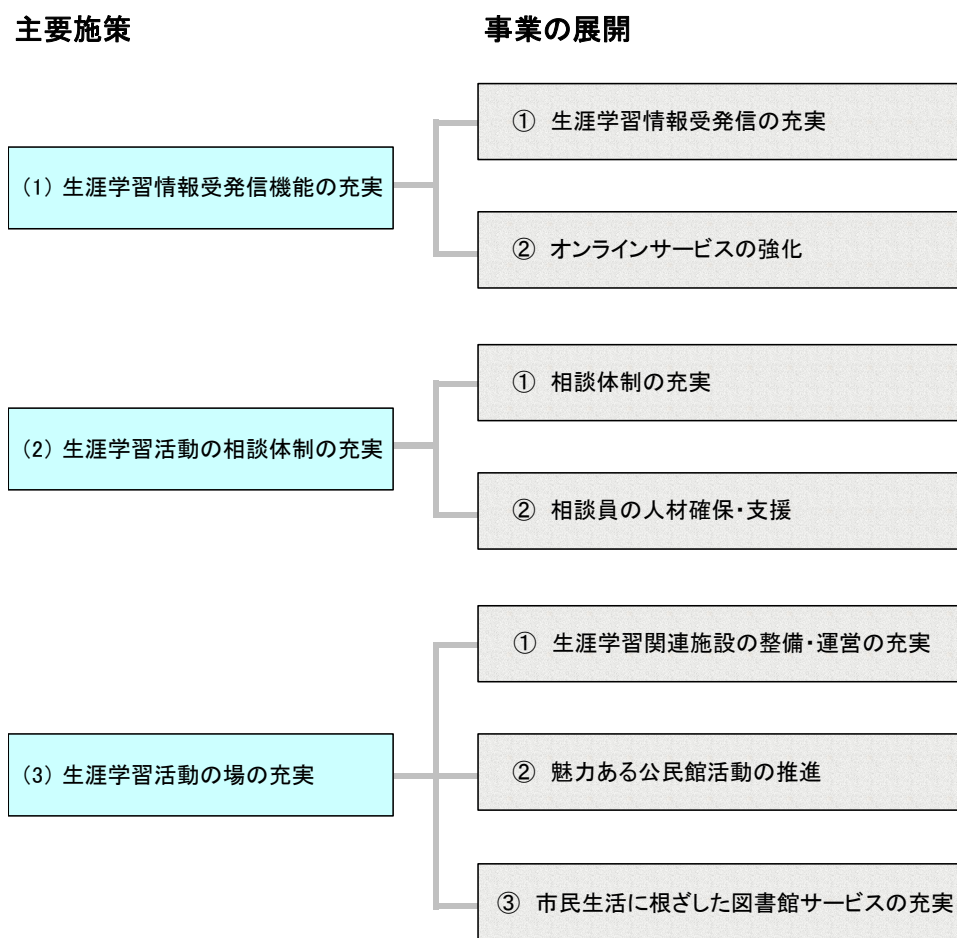
3. みんなで協働 ～市民が学んだことを活かせるまちづくり～

学んだ成果を活かそうとするとき、そこには人と人との交流、地域や社会との関わりが生まれ、新たな学習の輪が広がります。さらにその学習を通じた輪が、地域課題の解決や社会貢献活動という主体的な行動へと発展し、より充実した地域社会が実現します。生涯学習を推進していくうえでは、市民と行政の連携・協力が必要であり、そのために「みんなで」学習活動を盛り上げ、市民が学んだことを活かせるまちづくりを目指します。

施策の体系と主要施策

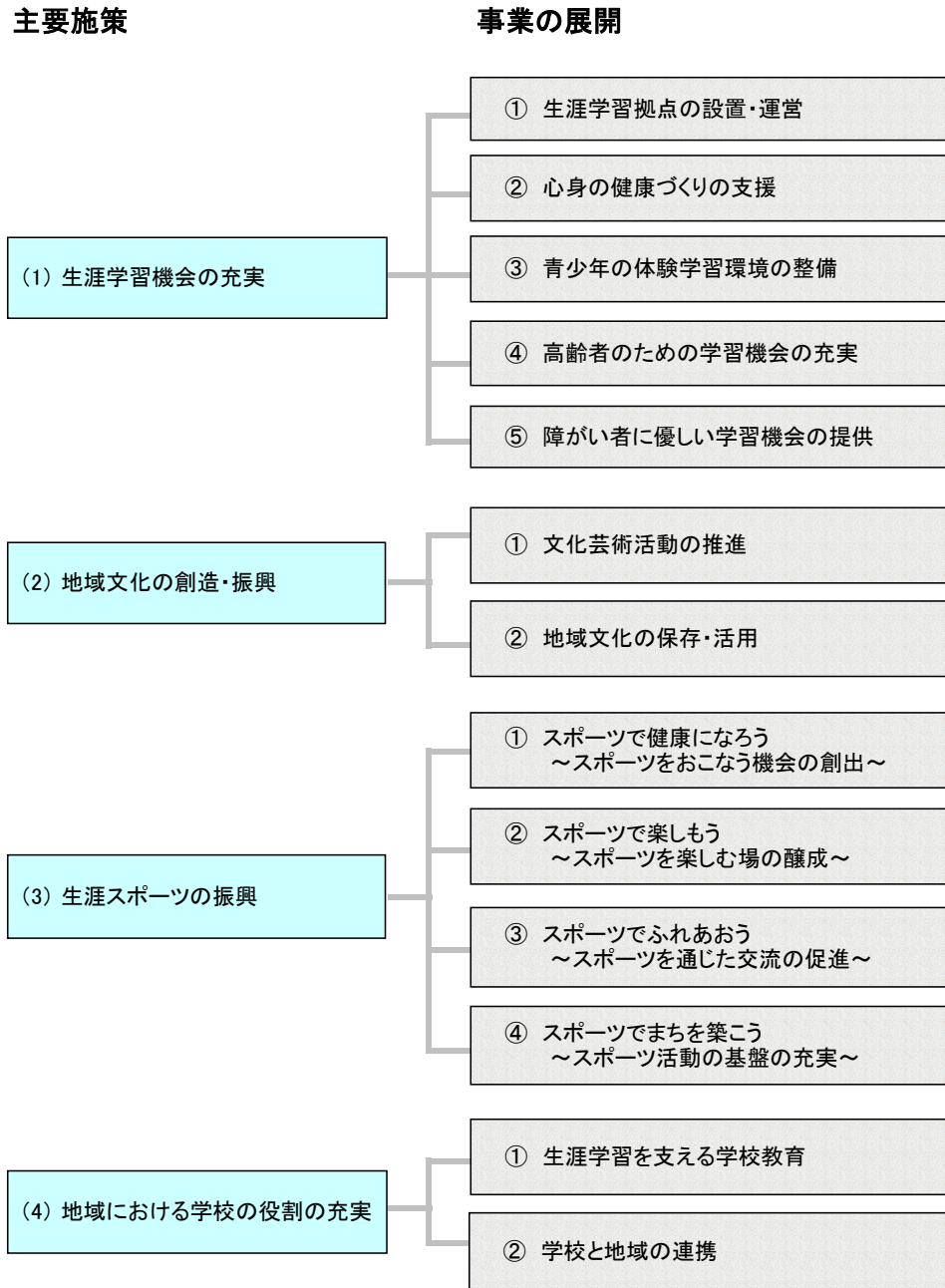
1. だれもが主役 ～市民が主体的に学べるまちづくり～

市民「だれもが」生涯学習において主役であり、自ら主体的に学習活動が行えるまちづくりを目指して、3つの主要施策を定め、7つの事業を展開していきます。



2. いろいろな学習 ～市民が相互に学びあえるまちづくり～

市民一人ひとりが、「いろいろな」学習を通じて自己実現を図り、また市民同士が相互に学びあえる環境を作るため、4つの主要施策を定め、13の事業を展開していきます。



3. みんなで協働 ～市民が学んだことを活かせるまちづくり～

市民一人ひとりの学習活動を「みんなで」支えあいながら定着させ、市民が学んだことを活かせるまちづくりを推進するため、3つの主要施策を定め、6つの事業を展開します。

主要施策

事業の展開

